

お忙しいところ恐縮ですが、以下の質問にご回答ください。それぞれの質問に対して、該当する回答に丸印をお付けください。数値をお答え頂く質問については、おわかりになる範囲で概ねの数値を記載してください。具体的な記載をお願いする質問については、スペース内に簡潔にお答えくださると幸いです。

1) 耳鼻咽喉科診療に携わる常勤の言語聴覚士を雇用されていますか。

はい（ ）

いいえ（ ）

2) 耳鼻咽喉科診療に携わる非常勤の言語聴覚士を雇用されていますか。

はい（ ）

いいえ（ ）

3) 耳鼻咽喉科診療に携わる言語聴覚士の人数を教えてください。

常勤言語聴覚士（ ）名

非常勤の言語聴覚士（ ）名

4) 耳鼻咽喉科診療に携わる常勤の言語聴覚士の所属部署を教えてください。

耳鼻咽喉科（ ）名

リハビリテーション科（ ）名

中央管理部門（ ）名

その他（具体的に書きください： ）

5) 耳鼻咽喉科診療に携わる非常勤の言語聴覚士の所属部署を教えてください。

耳鼻咽喉科（ ）名

リハビリテーション科（ ）名

中央管理部門（ ）名

その他（具体的に書きください： ）

6) 常勤の言語聴覚士の職務内容を教えてください。（重複する場合は延べ人数）

発声・音声障害（ ）名

摂食・嚥下障害（ ）名

成人の言語・認知障害（ ）名

小児の言語・認知障害（ ）名

聴覚障害（ ）名

平衡障害（ ）名

その他（ ）名

7) 非常勤の言語聴覚士の職務内容を教えてください。（重複する場合は延べ人数）

発声・音声障害（ ）名

摂食・嚥下障害（ ）名

成人の言語・認知障害（ ）名

小児の言語・認知障害（ ）名

聴覚障害（ ）名

平衡障害（ ）名

その他（ ）名

8) 常勤および非常勤の言語聴覚士の職務内容の大体の比率を教えてください。

発声・音声障害（ ）%

摂食・嚥下障害（ ）%

成人の言語・認知障害（ ）%

小児の言語・認知障害（ ）%

聴覚障害（ ）%

平衡障害（ ）%

その他（ ）%

9) 常勤の言語聴覚士が1ヶ月間に担当する平均の患者人数を教えてください。

発声・音声障害（ ）名

摂食・嚥下障害（ ）名

成人の言語・認知障害（ ）名

小児の言語・認知障害（ ）名

聴覚障害（ ）名

平衡障害（ ）名

その他（ ）名

10) 非常勤の言語聴覚士が1ヶ月間に担当する平均の患者人数を教えてください。

発声・音声障害（ ）名

摂食・嚥下障害（ ）名

成人の言語・認知障害（ ）名

小児の言語・認知障害（ ）名

聴覚障害（ ）名

平衡障害（ ）名

その他（ ）名

11) 常勤の言語聴覚士の1週間あたりの平均の職務時間を教えてください。

発声・音声障害（ ）分

摂食・嚥下障害（ ）分

成人の言語・認知障害（ ）分

小児の言語・認知障害（ ）分

聴覚障害（ ）分

平衡障害（ ）分

その他（ ）分

12) 非常勤の言語聴覚士の1週間あたりの平均の職務時間を教えてください。

発声・音声障害（ ）分

摂食・嚥下障害（ ）分

成人の言語・認知障害（ ）分

小児の言語・認知障害（ ）分

聴覚障害（ ）分

平衡障害（ ）分

その他（ ）分

13) 言語聴覚士の職務内容により生じる保険請求内容について教えてください。

発声・音声障害関連（ ）

摂食・嚥下障害関連（ ）

成人の言語・認知障害関連（ ）

小児の言語・認知障害関連（ ）

聴覚障害関連（ ）

平衡障害関連（ ）

その他（具体的に書きください： ）

- 1 4) 耳鼻咽喉科診療に携わる言語聴覚士の雇用はどのようにして行われたのか教えてください。
日本言語聴覚士協会からの紹介 ()
各都道府県言語聴覚士会からの紹介 ()
通常の求人広告 ()
インターネット上での紹介サイト ()
言語聴覚士からの紹介 ()
医師・病院からの紹介 ()
その他 (具体的にお書きください:)
- 1 5) 耳鼻咽喉科診療に携わる言語聴覚士の休職・再雇用について、院内では現在何らかの取り組みがなされていますか。
はい ()
いいえ ()
取り組みの内容 ()
- 1 6) 院内で耳鼻咽喉科診療に携わる言語聴覚士の雇用をさらに促進したいとお考えですか。
はい ()
いいえ ()
わからない ()
- 1 7) 耳鼻咽喉科診療に携わる言語聴覚士を新たに雇用するとして、どの領域の言語聴覚士を優先的に雇用したいですか。(重複する場合は延べ人数)
発声・音声障害 () 名
摂食・嚥下障害 () 名
成人の言語・認知障害 () 名
小児の言語・認知障害 () 名
聴覚障害 () 名
平衡障害 () 名
その他 (具体的にお書きください:)
- 1 8) 耳鼻咽喉科診療に携わる言語聴覚士を雇用する際、特別な設備投資や特別に準備は必要とお考えですか。
はい ()
いいえ ()
投資・準備の内容 ()
- 1 9) 耳鼻咽喉科診療に携わる常勤の言語聴覚士の雇用は困難ですか、容易ですか。
困難である ()
容易である ()
どちらとも言えない ()
- 2 0) 耳鼻咽喉科診療に携わる非常勤の言語聴覚士の雇用は困難ですか、容易ですか。
困難である ()
容易である ()
どちらとも言えない ()
- 2 1) 耳鼻咽喉科診療に携わる言語聴覚士の雇用が困難であるとお考えの理由を教えてください。(複数回答も可)
言語聴覚士の職務対象となる症例が少ない ()
各種リハビリテーションに取り組む時間がない ()
各種リハビリテーションは近隣施設や他診療科に依頼している ()
補聴器関連業者の協力があるので必要性を感じない ()

言語聴覚士の雇用に必要な設備がなく、投資も考えていない ()
経営的に収支が合わない ()
看護師や臨床検査技師の増員が優先されるべきである ()
保険や保証、施設認定の申請等の事務手続きが煩雑である ()
求人しても言語聴覚士がすぐに見つからない ()
その他 (具体的にお書きください:)

- 2 2) 耳鼻咽喉科診療に携わる言語聴覚士の雇用により、耳鼻咽喉科・病院の収益はさらに上昇するとお考えですか。
はい ()
いいえ ()
わからない ()
- 2 3) 耳鼻咽喉科診療の質の向上、収益の上昇を考えた時、「言語聴覚士の雇用に関する情報提供」が必要とお考えですか。
はい ()
いいえ ()
わからない ()
- 2 4) 言語聴覚士雇用に関する情報提供として、どのような内容を希望されますか。
日耳鼻総会におけるシンポ・パネル・講演・説明会等 ()
関連する学会におけるシンポ・パネル・講演・説明会等 ()
日耳鼻会報・関連する学会誌での情報提供 ()
日耳鼻地方部会・耳鼻咽喉科医会からの情報提供 ()
その他 (具体的にお書きください:)
- 2 5) 言語聴覚士の生涯学習・各領域認定言語聴覚士制度についてご意見がおりますか。
はい ()
いいえ ()
ご意見 (具体的にお書きください:)
- 2 6) その他、全般にわたってご意見・ご質問がございましたら自由に記載をお願いします。

以上でアンケートは終了です。調査にご協力頂き、また貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。
8月31日(木)までにFAX(03-3443-3037)にてご返送頂けますと幸いに存じます。

よろしければ、病院名およびご回答頂きました先生のお名前を頂戴したいと思います。(任意記載)

回答日：平成29年 月 日

診療所名： _____

回答医師名： _____